



(yoshi)

市川市立第七中学校 学校だより  
No.8 令和7年12月2日  
学校教育目標  
「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」  
～ 多様性を認め自他を大切にする～



## 校外学習～修学旅行

11月27日（木）1学年は、鎌倉校外学習に行ってきました。

インフルエンザの流行で実施が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、紅葉の中で古都鎌倉を班毎に散策することができました。

本校は3学年の修学旅行は関西方面（京都）の修学旅行を予定しています。令和8・9年度（現2年生は5月15～17日・現1年生は6月5日～7日の予定）の修学旅行の日程も修学旅行新幹線の割り振りに基づいて決定されます。ここ数年のコロナ禍終息後、修学旅行・校外学習に関して次の3点を改めて確認する事ができました。

まず第1点は、修学旅行・校外学習は生徒たちが大きく成長する機会であることです。文部科学省も『大切な教育活動』であるから安易に中止せず、実施に向けて検討を進めるよう通知を出しています。第2点は修学旅行・校外学習が他国にはない『日本の特色ある教育活動』であり、日本人にとって旅の原点でもあり文化そのものであることです。ほぼすべての日本人が経験する共通の文化体験であるという側面があります。第3点は、体育祭や文化祭のように、学校単独では決して実施できない、『学校外の様々な人々によって支えられている特別かつ総合的な教育活動』であることです。

今回の1年生の校外学習は古都鎌倉でした。これは、京都での班別行動の予行演習を兼ねた実施となります。近年、インバウンドの影響によるオーバーツーリズムが問題視されており、京都を中心とする観光地では、交通機関の混雑や値上げが懸念されているため、修学旅行地の変更を検討する学校も出てきています。来年5月に予定されている新3年生の修学旅行では、バスの利用や班行動に関して様々な困難を想定し、今後、検討していきます。中学校の校外学習の集大成として、生徒たちの自主性と自己指導能力が高まる修学旅行になることを期待しています。



＜紅葉の鶴岡八幡宮＞

## 令和7年度 給食試食会

11月27日（木）1年生の鎌倉校外学習が行われるとともに、同日にPTA主催の給食試食会が開催されました。当日は50名以上の保護者がランチルームにて本校の栄養教諭より、①給食の栄養について②給食のねらい・目標③献立作成について④給食実施状況⑤本日の献立についてなどの説明を受けた後、実際に給食を試食していただきました。

27日の給食メニューは牛乳、はちみつレモントースト、チリコンカン、ひじきのマリネ、ヨーグルトでした。保護者の皆さんは様々な思いで試食されていたようです。

現在の義務教育年齢児童生徒は半数が、100歳まで生きることができる時代が来ると予測されています。健康を支えている大事な要素は食べ物です。中学生にとって給食の時間は食育を育む重要な時間でもあります。今回参加していただいた保護者の皆様に限らず、ご家庭でも給食を通して食育を考える機会にしていただければと思います。



<試食会の様子>



<試食会当日の献立>

## 市川市立第七中学校の吹奏楽部は日本一

本校の吹奏楽部が2025日本管楽合奏コンテストにおいて、最優秀グランプリに輝きました。この偉業を祝うため、市川市内では、市川第2庁舎および行徳支所には、懸垂幕が掲げられています。本校の3階からは、営団地下鉄東西線の車内からも見える大きい横断幕がPTAのご協力により、掲示されています。

今後も吹奏楽部は定期演奏会や各種イベントなどにも招かれ、演奏の機会をいただく予定です。

ぜひ、日本一の中学生による演奏をお楽しみください。



<日本一の賞状・トロフィー>

文責 校長

※学校ホームページにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。

緊急時の連絡をお伝えすることもあります。HPの登録をお願いします。 ⇒

